

(平成20年度実施事業)

# 事業評価表

事業CD. 0108501 - 05000

京都府南丹市

作成日: 平成21年05月12日

事業名	住宅対策事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ( )	美山支所 産業建設課 担当: 松本
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 26年度迄) 政策体系CD: 144	関連法令・条例等	南丹市の設置に伴い失効する・・・(経過措置を定める要綱)	

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
過疎、高齢化の進む美山において、後継者層の定住化を図るための住宅対策事業として実施されていた。
- ②事業を実施する必要性  
一般より有利な条件を提示することによる後継者層の流出への歯止め。  
資金借入れによる新築、改築の促進による経済への波及。
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
現段階では、旧町実施事業の継続交付のみである。美山オリジナルの事業であるため打ち切り事業となっている。しかしながら、この山間地域において後継者層の流出は大きな課題であり、地域に愛着をもって定住してもらうことは大きな目標である。本事業の狙いとした効果が得られる対策の検討が必要。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	4,353	3,459	3,169	1,966	1,841
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	4,353	3,459	3,169	1,966	1,841
職員等従事人員	人/年	—	—	0.04		
人件費	千円	—	—	294		
事業費総額	千円	—	—	3,463		

## 【主な支出の内訳】

実績に基づく交付金額を算定のうえ交付	35名 計 3,169千円
--------------------	---------------

## 【近隣市町村の取り組み状況】

--

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

--

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
旧美山町において若者定住促進政策の一環として合併前までの13カ年間本制度を実施し、合併後は経過措置としてH26年度に助成制度が終結する。
- ②当該事業のアピール事項  
平成5年度の創設時から満40歳以下の後継者を対象に80名に対して資金償還の利子助成を行い、若者の定住化促進に寄与した。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
本制度は終結するが、総合振興計画に基づく若者の定住化促進政策が必要。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	144	事業名	住宅対策事業		
事業CD.	108501-05000	細事業名	後継者住宅新築改築資金償還助成金		
所管部局	美山支所	所管課	美山産業建設課	担当	松本昭浩

108501-05000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
	住宅を新築又は改築、中古住宅の購入のため、金融機関から融資を受けた40歳以下の地域後継者に対し、元金の前年度12月末残高の利率の2分の1若しくは2%のいずれか低い額を10年間利子補給を行う旧町独自施策。	年間	実績に基づく交付金額を算定のうえ交付 35名分 計 3,169千円